

■有栖川宮熾仁親王 幕末に翻弄されるも、維新後、天皇の代理人として軍事を掌握する地位を歴任した。  
ありすがわのみやたるひとしんのう  
滑稽+人情本 1835= 京都御所で、有栖川宮熾仁親王の長子に生まれる。母は京都若宮八幡宮宮司の娘嘉奈。

大塩平八郎乱1837= 2歳 :

天保改革終・1844= 9歳 :

阿部正弘首座1845=10歳 :

..... 1848=13歳 : 父熾仁親王正室廣子と養子縁組後、仁孝天皇の猶子となり大宰帥、三品に任叙。

北斎没..... 1849=14歳 : 親王となり、熾仁の名を賜る。

尊徳報徳論・1851=16歳 : 孝明天皇の皇妹和宮との婚約が内示されるが、

ペリー来航・1853=18歳 :

五ヶ国条約・1858=23歳 : 堀田正睦からの条約勅許出願に対し、朝廷に反対と幕府外交政策を批難する意見書を提出。

桜田門外変・1860=25歳 : 和宮の將軍徳川家茂への降嫁のため解消。

生麦事件..... 1862=27歳 :

8月18日政変 1863=28歳 : 宮中で、中川宮朝彦親王と国事めぐって舌戦。

禁門の変..... 1864=29歳 : 尊攘派に擁立されて国事御用掛を務めるが、禁門の変の後、謹慎の処分を受ける。

大政奉還..... 1867=32歳 : 徳川齊昭娘貞子と婚約勅許も大政奉還で延期。\*王政復古後、新政府の最高職の総裁職に任命され、

明治維新..... 1868=33歳 : 戊辰戦争では東征大総督として討幕軍の最高指揮者となる。

戊辰戦争終・1869=34歳 : 貞子との婚約勅許され、東京へ移住。

初の日刊新聞1870=35歳 : 結婚。兵部卿として海陸軍の創設に尽力、

廃藩置県..... 1871=36歳 : 福岡藩知事(ついで県令)。父の隠居で家督相続。

学問のすすめ1872=37歳 : 妻貞子が死去。

明治6年政変 1873=38歳 : 溝口董子と再婚。

初の民間工場1875=40歳 : 元老院議官、勲一等旭日大綬章。

三つの内乱・1876=41歳 : 元老院議長などを歴任。

西南戦争..... 1877=42歳 : \*西南戦争が起こると征討総督となり、陸海軍を指揮。戦後、陸軍大将に任官、大勲位菊花大綬章。  
明治天皇の信任がますます厚くなり、以後、皇族の重鎮として補佐し、名代も務める。

..... 1880=45歳 : 左大臣を兼任して、国政の最高指導者の一人となる。

明治14年政変1881=46歳 :

新体詩抄..... 1882=47歳 : ロシア皇帝即位典礼名代として参列し、ヨーロッパ各国を巡遊、

岩倉具視没・1883=48歳 : アメリカも親善訪問して帰朝。

秩父事件..... 1884=49歳 : 大日本教育会総裁兼務。

内閣発足..... 1885=50歳 : \*内閣発足に伴って左大臣を辞任し、新設の参謀本部長となり、近衛都督を兼任。

国民之友始・1887=52歳 : 一時、日本赤十字社初代総裁を兼務。

帝国憲法発布1889=54歳 : 参謀総長を歴任する。

日清戦争始・1894=59歳 :

日清戦争終・1895=60歳 : \*日清戦争のさなかに、病没した。  
「熾仁親王日記」がある。